

様式第 2 号

事業計画書（提案の概要）

募集施設の名称	湖北みずどりステーション
---------	--------------

申請者	所在地	滋賀県長浜市湖北町尾上 107
	団体名	4B 合同会社
	代表者氏名	代表社員 山本 享平

1 管理運営についての基本方針等【審査基準：条例第 4 条第 1 号及び第 2 号】

(1) 施設の管理運営についての基本方針	風光明媚で豊かな自然環境に恵まれた湖畔の立地を生かし、次の 3 つの柱を基本に道の駅運営に取り組みます。 1. 人口減少社会において、地域住民にとって必要不可欠なインフラ、かつ湖北地域を訪問するお客様への地域の入り口となるような次世代型コミュニティとしての「道の駅」を目指します。 2. これまでの 5 年間で形成した、地元の共同体や地域のプレーヤーとの協業による、地域貢献型の運営を目指します。 3. 農漁業、観光、防災における地域との密な連携を実現し、海外へとつながるグローバルかつローカルな運営形態を志向します。
(2) 指定管理者を希望する理由・目的	先に指定管理を受託した令和 2 年からの約 5 年間で蓄積した地域、地域企業との関係性を引き続き発展させ、歳を追うごとに活力を失いつつある長浜湖岸地域の活性化をさらに前に進めるべく、道の駅「湖北みずどりステーション」の継続運営受託を強く希望します。 ・ これまで取り組んだ事業の継続に関するもの： 道半ばである域内小規模物流定着、減少する生産者への対策、未来を担う若者の将来的な地域回帰を意図した取り組み、長浜市北部におけるアドベンチャーツーリズム分野での観光拠点の創出を推し進めます。 ・ 今後取り組む必要性を感じているもの： 野鳥センターや湖底遺跡資料館と連携した非幹線道路沿いエリアの集客拠点化や災害時の避難場所としての施設機能維持のため老朽化する施設の延命管理を行う必要があると感じています。特に、譲渡交渉過程で断念した改装は、適宜補助金を活用し取り組むべきと考えます。
(3) 施設の課題とその対応	先に運営した 5 年を踏まえ、取組み切れていない課題を記述します。 ・ より顕著になった国道沿いの同種施設との格差 ・ 買い物過疎地である旧湖北町湖岸エリア住民への対応 ・ 減少する生産者への施策 ・ 量から質への転換の必要性 ・ 地場野菜販売箇所の急増

2 組織体制・職員配置等【審査基準：条例第4条第4号】

(1) 管理運営の組織体制	事業計画書のとおり
(2) 管理運営に係る職員配置及び今後の採用計画	
(3) 人材育成の考え方や職員の研修計画等	・ 新しい視点を持つ外部人材登用と地域の魅力を知る地元若手人材の活用を併用します。 ・ 道の駅外での観光振興への取り組みや周辺施設との連携、地域との連携を創造できる人材の育成を目指します。 ・ 地域や観光を学ぶため研修を定期的に開催し中長期的な人材育成に取り組みます。 ・ 外部組織との人事交流を計画し、地域を知らない地域人材の解消に努めます。

3 利用促進等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1) 施設の利用促進に向けた具体的な取組（施設の特色を活かした自主事業の展開を含む。）及び達成目標	「ACTIVE LAKE-STYLE」STATION （継続） ・ SNS を使った広報、誘客活動 ・ 隣接施設である野鳥センター（湿地センター含む）との連携 ・ 生産者団体、納入業者様との積極的な協業 ・ 体験型コンテンツの開発と販売 ・ 夕陽の名勝をしっかりと PR ・ 水辺にある立地を活かした道の駅のイメージづくりと発信 ・ 山本山のおばあちゃんに代表される自然観光資源の積極活用 ・ 「道の駅ガチャ」や「道の駅ビックリマン」に代表される県内道の駅周遊施策の推進 ＝達成目標＝ ・ 道の駅への集客は、過去5年の集客動向を踏まえ年間20万人を目標ラインとし、更新受託となったのちは、道の駅以外での収益の柱構築に取り組み、来場者増を目指し、イベント開催や関係機関との連携で年間24万人（20%増）を最終目標値とします。
(2) 地域・関係機関・ボランティア等との連携についての考え方や方策	・ 尾上自治会や朝日地域づくり協議会、朝日小学校との連携を通じた年一回以上の事業開催 ・ 朝日漁業組合との連携を通じ、尾上漁港や尾上浜を活用した誘客施策の展開、体験教室の実施 ・ 尾上菜の会からの安定仕入と普及 ・ 長浜観光協会インバウンド部会と連携した、海外観光客の立ち寄り誘致 ・ びわ湖ビジターズビューローやびわイチ推進室と連携したびわイチサイクリストの誘致 ・ 輪の国びわ湖や五環生活と連携したサイクリストの立寄り推進 ・ 地域食材を活用した飲食事業の展開
(3) 施設のPRや情報提供など広報活動についての効果的な取組	・ 道の駅連絡協議会への積極的な提言を通じた県内道の駅の活性化と広報活動 ・ 地域の関係団体や宿泊産業と連携した情報発信 ・ 配架するチラシや折り込み広告などによる地域内の誘客促進

	・ 北近江豊臣博覧会や JR ディスティネーションキャンペーンなどを通じた、地域外からの誘客促進
--	--

4 サービス向上等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1) 利用者等からのニーズの把握方法	・ アプリや Web アンケートを通じた道の駅の評価聴取 ・ 観光協会や野鳥センターが実施するフォトコンテストとの連携による観光ニーズの把握 ・ 長浜観光協会との連携による訪問データの収集 ・ イベントなどを通じた意見収集の機会提供とその実施 ・ ホームページを活用した意見公募 ・ コミュニケーションを重視する道の駅ならではの、店頭立ちでのコミュニケーションによる顧客ニーズ把握 ・ 近隣施設への定期的な巡回による市場環境把握
(2) 利用者等からの苦情等に対する対応	・ 事務室の観光案内所化することで、お客様とのコミュニケーションは大きく向上し、スタッフからの積極的な声掛けで、更なるクレームの発生を防ぎます。 ・ 定期的に顧客満足度調査を実施します。 ・ お客様のニーズ把握と並行して、道の駅が求める顧客像の発信を行い、店舗と顧客の間のミスマッチを低減します。
(3) その他サービスの質を維持・向上するための取組	・ 売り上げ達成による褒賞制度でスタッフのやる気を向上させ、積極的な業務改善につなげます。 ・ 定期的な研修実施によるスタッフの能力向上 ・ こまめな見回りとメンテナンスによる状況改善 ・ 自主的な投資による売り場の改善や新商品の提案で顧客の利便性向上を図ります。

5 施設の管理運営等【審査基準：条例第4条第3号及び第4号】

(1) 施設の管理運営における経費節減のための取組	・ 照明や冷暖房の効率的な運用に関して、従業員の誰もが適宜対応できる体制を整えます。 ・ サンルーフやブラインドを積極的に活用し、施設の弱点でもある西日対策に取り組みます。 ・ 琵琶湖側の設置物を極力取り除き、自然光を取り込んだ施設とする一方、施設内の陳列にメリハリをつけ、効果的な導線の確保と消費エネルギーの削減を両立させます。 ・ 値引販売や推奨商品の声掛けを通じて、廃棄ロスを削減します。
(2) 利用料金の設定及び設定根拠	生鮮品・食品 20%～25%、手工芸等の土産物 30% 過去5年の経験と近隣類似施設の価格・料率設定を踏まえ、一般量販店の市場調査を行った結果、算出しました。
(3) 維持管理業務（清掃・保守点検・警備等）の内容、方法、頻度、今後の修繕計画等	・ 定期的な植栽の整備 ・ 降雪時における敷地内の速やかな除雪 ・ スタッフによる開店前、閉店後の積極的な施設清掃 ・ 消火、避難訓練をはじめとする定期的な訓練の実施 ・ 駐車場南側、周縁部の定期的なごみ拾いと除草（今後の修繕） ＝すでに実施したもの＝ ・ 狭く暗いトイレへの導線整備

	・ 屋外トイレの増設の申し立て ⇒ 県からの補助で完工 ・ 景観を阻害する自動販売機の移設（施設の側面部へ） ・ 事務所側壁のガラス張り化と観光案内機能付加のための改修 ・ 不法占拠のたこ焼き店の立ち退き（長浜市が主導） ・ 電気自動車用の急速充電機設置 ・ 地下埋設ガスタンクの移設 ・ 漏水箇所の探索と修繕 ＝協議および支援が必要な修繕＝ ・ 建物北側駐車場の改修と野鳥センターとの間仕切り撤去 ・ サイクリスト、トラッカーが利用可能なシャワー設備の設置 ・ 給湯、給水設備（過去に更新履歴無）の入れ替え ・ 館内全体の改修 ・ 道の駅付属トイレの改修（屋内化も視野に）
--	--

6 その他【審査基準：条例第4条第4号】

(1) 利用者の個人情報 を保護するための取 組	・ 個人情報保護法に基づく社内規則の整備 ・ 定期的な研修の実施 ・ 自治体等が行う研修事業などへの参加
(2) 施設の管理運営に おける環境に配慮し た取組	・ 自主的なごみの削減 ・ リサイクルに関する取り組みの実施 ・ ごみの持ち込み削減に関する啓もう活動の実施 ・ 館内でのびわ湖や滋賀の環境に関する展示または掲示の実施 ・ 野鳥センターと連携した自然環境を保護する活動や啓発の取り組み
(3) 防災、防犯その他 緊急時（災害・事故 等）の対応及び危機 管理体制	・ 民間警備会社との契約による閉店～開店までの施設警備の実施 ・ 災害時の連絡網整備と LINE を活用した速やかな危機管理対応 ・ 食料備蓄や災害対応への備品購入と整理
(4) 同様・類似の業務 の実績等	・ 湖底遺跡資料館の拝観受付と管理業務への関与 ・ 北陸新幹線「敦賀」駅前での飲食店運営（2024 年 12 月閉業）

7 自由提案【審査基準：条例第4条第2号及び第5号】

その他施設の管理運営 業務を効果的・効率的 に推進していくために 提案したいこと、貴団 体の独自性やアピール したいこと	・ 地域の団体とのつながりを駆使して、道の駅が旅の目的地となるよう積極的に広報活動を行います。 ・ 道の駅の近隣で 60 年以上にわたり経営を続ける兄弟会社・旅館 紅鮎（宿泊施設）との協業により、より広範な地域への広報活動に取り組みます。 ・ 2 階スペースを有効活用し、現状展開する「みずどり文庫」や観光庁事業である地域の高付加価値化に関わる展示などを通し、湖北への関心を高める取り組みを実施します。 ・ 政府の未来投資会議が提言した「新たな成長戦略実行計画策定に関する中間報告」内にある MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）の普及を促進するための関連法案成立を前提としたシャトルバスの運行
---	--

※提案の概要は、次頁からの事業計画書に基づき A 4 版片面 4 枚以内で作成してください。

事業計画書

1 管理運営についての基本方針等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1) 施設の管理運営についての基本方針を提示してください。

風光明媚で豊かな自然環境に恵まれた湖畔の立地を生かし、次の3つの柱を基本に道の駅運営に取り組みます。【継続実施】

1. 人口減少社会において、地域住民にとって必要不可欠なインフラ、かつ湖北地域を訪問するお客様への地域の入り口となるような次世代型コミュニティとしての「道の駅」を目指します。
2. これまでの5年間で形成した、地元の共同体や地域のプレーヤーとの協業による、地域貢献型の運営を目指します。
3. 農業、漁業、観光、防災における地域との強固な連携を実現し、海外へとつながるグローバルかつローカルな運営形態を志向します。

(2) 指定管理者を希望する理由・目的を提示してください。

先に指定管理を受託した令和2年からの約5年間で蓄積した地域、地域企業との関係性を引き続き発展させ、歳を追うごとに活力を失いつつある長浜湖岸地域の活性化をさらに前に進めるべく、道の駅「湖北みずどりステーション」の継続運営受託を希望します。【改良継続実施】

- ・ これまで取り組んだ事業の継続に関するもの：
 - － 道半ばである域内小規模物流の定着
 - － 減少する出荷者（生産者）への対策
 - － 未来を担う若者の将来的な地域回帰を意図した取り組み
 - － 長浜市北部におけるアドベンチャーツーリズム分野での観光拠点の創出
- ・ 今後取り組む必要性を感じているもの：
 - － 野鳥センターや湖底遺跡資料館と連携した非幹線道路沿いエリアの集客拠点化や災害時の避難場所としての施設機能維持
 - － 老朽化する施設の少しでも長い期間の維持管理
 - － 施設譲渡の折衝過程で断念した国の補助金を活用した改装

(3) 施設の課題とその対応について提示してください。

先に運営した5年を踏まえ、取り組み切れていない課題を記述します。

- ・ より顕著になった国道沿いの同種施設との格差
 - ⇒ 市内3道の駅の協業を通じて相互集客を図ると共に、それぞれの特性の確立

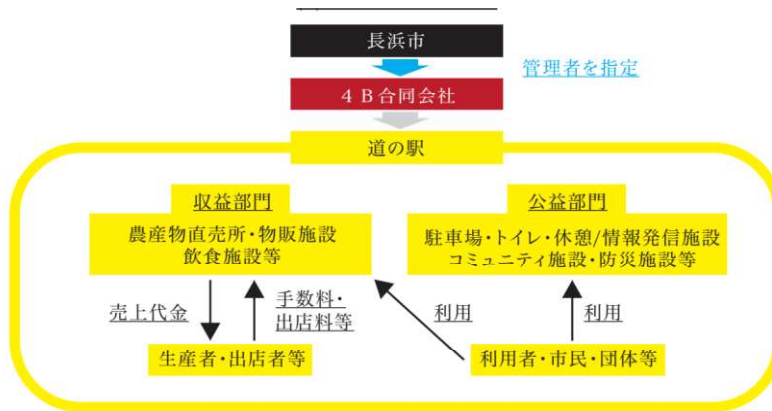
を進めます。小規模物流など地域の課題解決に対し共同で取り組むことで、相互集客を図り、幹線道路沿いではない地理的不利の解消に努めます。また、国道からさざなみ街道への流入経路整備（案内看板の設置等）を行います。

- ・ 買い物過疎地である旧湖北町湖岸エリア住民への対応
 - ⇒ 地域のニーズ把握を行い、既に一部生活必需品の販売を 始めましたが、飲食部門の維持を通して、地域住民の生活維持に資するサービスの提供に努めます。
- ・ 減少する生産者への施策
 - ⇒ 継続的な出荷者の掘り起こしや、地域野菜の生産促進と 一括買い取り、農業塾（仮称）の立ち上げなどを通じて、新しい就農者の確保や現業者の収入維持に努め、安定的な商品の確保に取り組みます。
- ・ 量から質への転換の必要性
 - ⇒ ようやく上昇傾向に転じた販売価格の更なる向上を目 指し、売り方や商品構成、生産調整を行います。これにより、お客様の求めるものと売り場に並ぶもののミスマッチを低減させます。
- ・ 地場野菜販売箇所の急増
 - ⇒ 直売所機能がない一般量販店でも産直コーナーが設置 され、これまで道の駅や直売所の専売特許であった地場野菜が幅広く流通するようになっている今、より丁寧はニーズ把握と市場調査、新しい提案等により、集客、売上の確保に努めます。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A4版）を作成してください。

2 組織体制・職員配置等【審査基準：条例第4条第4号】

(1) 管理運営の組織体制を提示してください。



(2) 管理運営に係る職員配置及び今後の採用計画を提示してください。

役職	担当業務内容	資格・能力等	雇用形態	勤務形態
駅長	道の駅の運営管理総括	食品衛生責任者 甲種防火管理者	常勤	通常勤務 7:30-16:15
副駅長	同 総括補佐	甲種防火管理者	常勤	通常勤務 10:00-18:45
調理長	同 飲食部門責任者	調理師免許	常勤	通常勤務 8:30-17:15
総務・経理	総務・会計業務補佐	簿記	非常勤	シフト制
経理補佐	会計業務補佐		非常勤	シフト制
接客①	フロア（レジ・発注管理補佐）		非常勤	シフト制
接客②	フロア（レジ・検品）		非常勤	シフト制
接客③	フロア（レジ・検品）		非常勤	シフト制
接客④	フロア（レジ・検品）		非常勤	シフト制
接客⑤	レストラン（調理補佐）	調理師免許（希望）	非常勤	シフト制
接客⑥	レストラン（調理補佐）		非常勤	シフト制
接客⑦	レストラン（接客メイン）		非常勤	シフト制
接客⑧	レストラン（接客メイン）		非常勤	シフト制
接客⑨	レストラン（接客メイン）		非常勤	シフト制
接客⑩	繁忙期対応		非常勤	シフト制
清掃・接客	清掃中心に他部署をHELP		非常勤	シフト制
清掃・接客	清掃中心に他部署をHELP		非常勤	シフト制

（職員の採用計画）

運営主軸の常勤3名の他にアルバイト（主任格）2名と来店ピークに合わせて出社するアルバイト10名で構成。繁忙期に合わせて追加。非常勤スタッフの50%以上は長浜市または隣接自治体在住者とする。繁忙期対応はこの限りではない。また、営業の状況に

より、必ずしも定員いっぱいでの運営とはならないことがある。

(3) 人材育成の考え方や職員の研修計画等を提示してください。

観光振興に欠かせない「若者・バカ者・よそ者」の視点を意識した人材育成を進めます。特に、地域や観光を学ぶための2月1回以上の研修を通じ、他地域の観光振興への取り組みや周辺施設との連携、地域との連携を創造できる人材の育成を目指します。

3 利用促進等【審査基準：条例第4条第1号及び第2号】

(1) 施設の利用促進に向けた具体的な取組（施設の特色を活かした自主事業の展開を含む。）及び達成目標を提示してください。

- ・ SNS を使った広報、誘客活動
- ・ 隣接施設である野鳥センター（湿地センター含む）との連携
- ・ 生産者団体、納入業者様との積極的な協業
- ・ 体験型コンテンツの開発と販売
- ・ 夕陽の名勝をしっかりと PR
- ・ 水辺にある立地を活かした道の駅のイメージづくりと発信
- ・ 休館日と営業時間の見直しによる来場者増
- ・ 活発な自主事業の実施による利用者増

【達成目標】

年度	利用者数	積算根拠
令和8年度	200,000	令和7年度175,000人想定および過去4年間の平均値167,000人を基に、令和8年度は大河ドラマ効果、令和9・10年度はJRディスティネーションキャンペーンの効果を加味した数値としている。
令和9年度	200,000	
令和10年度	200,000	
令和11年度	200,000	
令和12年度	200,000	

(2) 地域・関係機関・ボランティア等との連携についての考え方や方策を提示してください

- ・ 尾上自治会との連携を通じ、年一回イベントを開催する。
- ・ 尾上温泉旅館組合と連携して、宿泊客の道の駅への誘客キャンペーンを展開する。
- ・ 朝日漁業組合からの仕入を通じた実演販売や体験教室の実施
- ・ 尾上菜の会からの安定仕入を前提にしたメニュー開発
- ・ 長浜観光協会インバウンド部会と連携した海外観光客の立ち寄り誘致
- ・ 奥びわ湖の会との連携による PR
- ・ びわ湖近江路観光圏協議会宿泊部会への積極的な情報発信

(3) 施設のPRや情報提供など広報活動についての効果的な取組を提示してください。

- ・ SNS を用いた積極的な情報発信

- ・ 関連会社となる旅館紅鮎の人脈を活用した情報発信
- ・ 地域の組織と連携した情報発信
- ・ 施設内に配架するチラシなどを工夫し定期的な来館を促す広報活動を展開する。
- ・ 県内の他の道の駅との連携事業
- ・ 長浜市内の類似施設との連携によるイベント等の実施

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A 4 版）を作成してください。

4 サービス向上等【審査基準：条例第 4 条第 1 号及び第 2 号】

(1) 利用者等からのニーズの把握方法を提示してください。

- ・ アプリや Web アンケートを通じた道の駅の評価委を実施
- ・ 観光協会や野鳥センターが実施するフォトコンテストとの連携によるニーズの把握
- ・ イベントなどを通じた意見収集の機会提供とその実施
- ・ ホームページを活用した意見公募
- ・ 県内類似施設の見回りによる市場調査
- ・ 異業種との連携による社会全体の動向把握

(2) 利用者等からの苦情等に対する対応について提示してください。

- ・ 目安箱を設置し、利用者の不安や不満の解消に取り組む。
- ・ 定期的に顧客満足度調査を実施する。
- ・ スタッフが積極的に売り場に立つことで、お客様とのコミュニケーションを取りやすい環境を造成する。

(3) その他サービスの質を維持・向上するための取組について提示してください。

- ・ 社員間での褒賞制度を導入し、積極的な業務改善につなげます。
- ・ 定期的な研修実施によるスタッフの能力向上
- ・ こまめな見回りとメンテナンスによる状況改善

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A 4 版）を作成してください。

5 施設の管理運営等【審査基準：条例第 4 条第 3 号及び第 4 号】

(1) 施設の管理運営における経費節減のための取組について提示してください。

- ・ 関連会社旅館紅鮎との共同仕入れ等による仕入単価の改善
- ・ 水道光熱費の購入先見直し
- ・ 照明や冷暖房の効率的な使用に関し、内規（マニュアル）を作成し、従業員の誰でもが適宜対応できる体制を整備する。
- ・ サンプル積極活用し、施設の弱点でもある西日対策に取り組む。

- ・ 建物琵琶湖側の設置物を極力取り除き、自然風や光を取り込んだ運営を行う。

(2) 利用料金の設定及び設定根拠について提示してください。

区分	単位	使用料（税込）	利用料金(案)
地域特産物販売所	販売代金	販売代金の 30% 以内	20～25%
農林水産物販売所			20～25%
レストラン			30%
地域情報室			30%

(利用料金の設定根拠)

近隣施設を月一度以上巡回している大山駅長の市場調査に基づき、30%を上限として幅を持たせた設定にしている。また、旧・湖北町直売組合員は優遇した料率設定としている。(新規参入者より 5%安)

(3) 維持管理業務（清掃・保守点検・警備等）の内容、方法、頻度、今後の修繕計画等について提示してください。

- ・ 定期的な植栽の整備（年 3～4 回）
- ・ 降雪時における敷地内の速やかな除雪（随時）
- ・ スタッフによる開店前、閉店後の積極的な施設清掃（毎日）
- ・ 消火、避難訓練をはじめとする定期的な訓練の実施（年 2 回）
- ・ トイレ（県設置：新設）の清掃（毎日）

＝協議の上で取り組む事項＝

- ・ 野鳥センターとの間仕切り撤去
- ・ 給湯・給水設備の点検と入れ換え（大規模な漏水が発生したため）
- ・ 空調設備の更新
- ・ キュービクルの設置（施設の容量が限界のため）

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A 4 版）を作成してください。

6 その他【審査基準：条例第 4 条第 4 号】

(1) 利用者の個人情報保護のための取組を提示してください。

- ・ 個人情報保護法に基づく社内規則の整備
- ・ 専門家を招いた定期的な研修の実施
- ・ 自治体等が行う研修事業への参加

(2) 施設の管理運営における環境に配慮した取組を提示してください。

- ・ 自主的なごみの削減

- ・ リサイクルに関する取り組みの実施
- ・ ごみの持ち込み削減に関する啓もう活動の実施
- ・ 館内でのびわ湖や滋賀の環境に関する展示または掲示の実施

(3) 防災、防犯その他緊急時（災害・事故等）の対応及び危機管理体制について提示してください。

- ・ 民間警備会社との契約による閉店～開店までの施設警備の実施
- ・ 災害時の連絡網整備と Yahoo 緊急連絡網の導入による速やかな危機管理対応
- ・ 食料備蓄や災害対応への備品購入と整理

(4) 同様・類似の業務の実績等があれば、記入してください。

- ・ 湖底遺跡資料館の拝観受付と管理業務（尾上自治会より委託）

これまで個人携帯を窓口とされていた尾上自治会が管理する湖底遺跡資料館の受付や開錠業務に関して、旅館紅鮎と共同で自治会が委託される管理人への連絡を担い、施錠・開錠を管理しています。また、開館に関する問い合わせ先は、関連企業「旅館紅鮎」となっており、地域の施設管理の無償でサポートしています。

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A 4 版）を作成してください。

7 自由提案【審査基準：条例第 4 条第 2 号及び第 5 号】

その他施設の管理運営業務を効果的・効率的に推進していくために提案したいこと、貴団体の独自性やアピールしたいことがあれば、記入してください。（例：女性・若者の参画、資材等の地元調達など）

- ・ 地域の団体（朝日地区地域づくり協議会など）とのつながりを駆使して、道の駅が旅の目的地となるよう積極的に自主・広報活動を行います。
- ・ 道の駅の近隣で 60 年以上にわたり経営を続ける宿泊施設と連携して、国内にとどまらず、世界に向けた集客の施策を実施します。
- ・ 立地を活かし、アウトドア用品会社の出店誘致やイベント開催に積極的に取り組みます。また、イベントを企画します。
- ・ 2 階交流室を活用したクラブ活動の実施により、道の駅ファンを増やすことで、人の交流や情報交換が行われる場の提供を目指します。
- ・ 現行で地場産食材を活用し、レストランスペースで地域食材の提供を強化します。

【 30 年先を見据えて 】

- ・ 政府の未来投資会議が提言した「新たな成長戦略実行計画策定に関する中間報告」内にある MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）の普及を促進するための関連法案成立を前提としたシャトルバスの運行
- ・ 地域商社を設立し、市内観光拠点の複数化に取り組みます。これにより、物流の課題、人材育成の課題、空き家対策など地域の課題を総合的に取り扱う仕組みを作り、収益を上げられるような法人化を目指します。

・

欄が不足する場合は、同様の書式で別紙（A 4 版）を作成してください。

様式第 3 号

収支計画書（総括表）【審査基準：条例第 4 条第 3 号及び第 4 号】

1 収入

（単位：千円）

科目		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度	令和 1 1 年度	令和 1 2 年度	合計
指定管理料		0	0	0	0	0	0
利用料金収入		220, 000	224, 400	228, 900	230, 000	235, 000	1, 138, 300
その他	出店売上	100	100	100	100	100	500
	計	100	100	100	100	100	500
小計（指定管理業務）		220, 100	224, 500	229, 000	230, 100	235, 100	1, 138, 800
自主事業収入		1, 000	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000	9, 000
自販機売上		2, 500	2, 500	2, 500	2, 500	2, 500	12, 500
合計		223, 600	229, 000	233, 500	234, 600	239, 600	1, 160, 300

2 支出

科目		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 1 0 年度	令和 1 1 年度	令和 1 2 年度	合計
人件費		34, 000	34, 800	35, 200	36, 000	36, 800	176, 800
維持管理費		14, 050	14, 250	14, 350	14, 650	14, 850	72, 150
修繕費		2, 000	2, 000	2, 000	2, 000	2, 000	10, 000
その他の支出		158, 200	163, 200	168, 200	173, 200	178, 200	841, 000
小計（指定管理業務）		208, 250	214, 250	219, 750	225, 850	231, 850	1, 099, 950
新規事業開発費		15, 100	14, 500	13, 500	8, 500	7, 500	59, 100
納付金		250	250	250	250	250	1, 250
合計		223, 600	229, 000	233, 500	234, 600	239, 600	1, 160, 300

様式第3号の2

収支計画書（年度別内訳表）

年 度	令和8年度（令和8年4月1日～令和9年3月31日）
-----	---------------------------

1 収入 (単位：千円)

科目		金額	積算根拠等
指定管理料		0	仕様書に基づく
利用料金収入		220,000	過去実績に基づく
その他	出店料売り上げ	100	過去実績に基づく
	計	100	
小計（指定管理業務）		220,100	
自主事業収入		1,000	自社商品開発による収益
自販機売上		2,500	過去実績による
合計		223,600	

2 支出

科目		金額	積算根拠等
人件費		34,000	
維持管理費	光熱水費	8,000	実績と過去上昇分に基づく
	清掃費	0	内製化のため無し
	警備費	500	
	消耗品費	2,000	
	保険料	350	
	ゴミ処理	1,200	過去実績に基づく
	各種リース	2,000	
	計	14,050	
修繕費		2,000	
その他	仕入れ	155,000	
	通信費	700	
	広告宣伝費	1,000	
	各種手数料	1,500	
	計	158,200	
小計（指定管理業務）		208,250	
新規開発事業など		15,100	商品製作は外注
納付金		250	固定10万円＋利益の30%（15万）
合計		223,600	

注 事業年度ごとに記入してください。

様式第3号の2

収支計画書（年度別内訳表）

年 度	令和9年度（令和9年4月1日～令和10年3月31日）
-----	----------------------------

1 収入

（単位：千円）

科目		金額	積算根拠等
指定管理料		0	仕様書に基づく
利用料金収入		224,400	過去実績に基づき、年2%増加で算定
その他	出店料売り上げ	100	過去実績に基づく
	計	100	
小計（指定管理業務）		224,500	
自主事業収入		2,000	自社商品開発による収益
自販機売上		2,500	過去実績による
合計		229,000	

2 支出

科目		金額	積算根拠等
人件費		34,800	常勤昇給分・時給上げを加味
維持管理費	光熱水費	8,200	実績と過去上昇分に基づく
	清掃費	0	内製化のため無し
	警備費	500	
	消耗品費	2,000	
	保険料	350	
	ゴミ処理	1,200	過去実績に基づく
	各種リース	2,000	
	計	14,250	
修繕費		2,000	
その他	仕入れ	160,000	
	通信費	700	
	広告宣伝費	1,000	
	各種手数料	1,500	
	計	163,200	
小計（指定管理業務）		214,250	
新規開発事業ほか		14,500	商品製作は外注
納付金		250	
合計		229,000	

注 事業年度ごとに記入してください。

様式第3号の2

収支計画書（年度別内訳表）

年 度	令和10年度（令和10年4月1日～令和11年3月31日）
-----	------------------------------

1 収入 （単位：千円）

科目		金額	積算根拠等
指定管理料		0	仕様書に基づく
利用料金収入		228,900	過去実績に基づき、年2%増加で算定
その他	出店料売り上げ	100	過去実績に基づく
	計	100	
小計（指定管理業務）		229,000	
自主事業収入		2,000	自社商品開発による収益
自販機売上		2,500	過去実績による
合計		233,500	

2 支出

科目		金額	積算根拠等
人件費		35,200	常勤昇給分・時給上げを加味
維持管理費	光熱水費	8,300	実績と過去上昇分に基づく
	清掃費	0	内製化のため無し
	警備費	500	
	消耗品費	2,000	
	保険料	350	
	ゴミ処理	1,200	過去実績に基づく
	各種リース	2,000	
	計	14,350	
修繕費		2,000	
その他	仕入れ	165,000	
	通信費	700	
	広告宣伝費	1,000	
	各種手数料	1,500	
	計	168,200	
小計（指定管理業務）		219,750	
新規開発事業ほか		13,500	商品製作は外注
納付金		250	
合計		233,500	

注 事業年度ごとに記入してください。

様式第3号の2

収支計画書（年度別内訳表）

年 度	令和11年度（令和11年4月1日～令和12年3月31日）
-----	------------------------------

1 収入 （単位：千円）

科目		金額	積算根拠等
指定管理料		0	仕様書に基づく
利用料金収入		230,000	DC終了を加味し、伸び率鈍化
その他	出店料売り上げ	100	過去実績に基づく
	計	100	
小計（指定管理業務）		230,100	
自主事業収入		2,000	自社商品開発による収益
自販機売上		2,500	過去実績による
合計		234,600	

2 支出

科目		金額	積算根拠等
人件費		36,000	常勤昇給分・時給上げを加味
維持管理費	光熱水費	8,400	実績と過去上昇分に基づく
	清掃費	0	内製化のため無し
	警備費	500	
	消耗品費	2,000	
	保険料	450	
	ゴミ処理	1,300	過去実績に基づく
	各種リース	2,000	
	計	14,650	
修繕費		2,000	
その他	仕入れ	170,000	
	通信費	700	
	広告宣伝費	1,000	
	各種手数料	1,500	
	計	173,200	
小計（指定管理業務）		225,850	
新規開発事業ほか		8,500	商品製作は外注
納付金		250	
合計		234,600	

注 事業年度ごとに記入してください。

様式第3号の2

収支計画書（年度別内訳表）

年 度	令和12年度（令和12年4月1日～令和13年3月31日）
-----	------------------------------

1 収入

（単位：千円）

科目		金額	積算根拠等
指定管理料		0	仕様書に基づく
利用料金収入		235,000	前年度実績を基に、伸び率2%
その他	出店料売り上げ	100	過去実績に基づく
	計	100	
小計（指定管理業務）		235,100	
自主事業収入		2,000	自社商品開発による収益
自販機売上		2,500	過去実績による
合計		239,600	

2 支出

科目		金額	積算根拠等
人件費		36,800	常勤昇給分・時給上げを加味
維持管理費	光熱水費	8,500	実績と過去上昇分に基づく
	清掃費	0	内製化のため無し
	警備費	500	
	消耗品費	2,000	
	保険料	450	
	ゴミ処理	1,400	過去実績に基づく
	各種リース	2,000	
	計	14,850	
修繕費		2,000	
その他	仕入れ	175,000	
	通信費	700	
	広告宣伝費	1,000	
	各種手数料	1,500	
	計	178,200	
小計（指定管理業務）		231,850	
新規事業開発ほか		7,500	商品製作は外注
納付金		250	
合計		239,600	

注 事業年度ごとに記入してください。